

# 阪南市は合併しないで、やっています！

合併問題を考える阪南市民の会  
 会長 古家 泰三  
 事務所 阪南市尾崎町1-3-7-201  
 TEL/FAX 0724-72-7270

## 財政上は、合併せずにやっています

・・・住民説明会で、市長答弁する・・・

7月31日より始まった「住民説明会」で、住民の質問に対して岩室市長は「合併したときも、合併しなかったときでも、市として財政が成立つように財政再建を行ってきた」と答弁し、合併しなくて単独でもやっていますことを認めました。

赤字解消の決定版といわれた

### 合併特例債はどうなったの？

これまでいろんな事業ができる、これ以上の赤字はつくりたくないといわれてきた「合併特例債660億円」。これを使うとまた新たな多額の借金がふえ、さらに困難になります。新市のまちづくり計画」では、660億円の20%120億円の事業しかできないことになっています。

### コミュニティバスは？

当面は現行のまま運行されるが、将来はどうなるかわかりません。新市の財政状況が厳しければ、料金値上げやバスの運行本数の削減もありえます。

.....  
**団体になりません！**  
**では、市単独でも赤字再建**  
**阪南市の20年間の財政予測**  
 .....

阪南市が合併せず単独の場合の財政予測をしています。財政赤字のピークは平成26年の17.7億円で、赤字再建団体への転落基準額は約19億円で再建団体にはなりません。平成27年以降は単年度収支は黒字になり累積赤字は減っていきます。

これは阪南市が平成15年から19年まで、市民を犠牲にした財政再建を最優先にしてきた結果です。

- 1) 市民負担の増加 (国保料の引上げ、前納奨励金の廃止、利用料・手数料の引上げなど)
- 2) 市民サービスの見直し (サービスの低下)

\* 1) と2) ですすでに計画の70%以上達成されたといわれており、歳入の増加と歳出の削減で、効果額は約5億円ほどになります。

- 3) 職員削減で給与の削減 (下の表のとおり)

職員数 (病院・水道と、泉南市を除いて消防は含まず)

	平成14年	平成15年	平成16年	2年間の増減	14年対比
阪南市	483名	466名	436名	-47名	90.27%
泉佐野市	956名	949名	918名	-38名	96.03%
泉南市	755名	764名	760名	+5名	100.66%

職員給与 (共済組合負担金を含む)

	平成14年	平成15年	平成16年	2年間の増減	14年対比
阪南市	44.20億円	39.78億円	34.73億円	-9.47億円	78.57%
泉佐野市	86.01億円	82.97億円	76.59億円	-9.42億円	89.05%
泉南市	61.05億円	58.90億円	56.47億円	-4.58億円	92.50%

合併はまだ決まってません！

8月22日の住民投票に

合併反対に○を

対等合併にはほど遠い！

# 合併は住民の利益になりません

合併協議会では、3市2町の対等合併だといっていますが、今回の合併は阪南市民にとって不平等な不利益合併です。

合併問題を考える阪南市民の会  
 会長 古家 泰三  
 事務所 阪南市尾崎町1-3-7-201  
 TEL/FAX 0724-72-7270

## 市役所は泉佐野で遠くて不便に！

新市の市役所はきまらず、当面泉佐野市役所を使用します。もともと泉佐野・関空が中心とされる合併です。阪南市民は市役所から大変遠くなり、不便になるだけでなく、今の阪南市役所は支所に格下げされ職員も漸次減らされて、市民の声が届きません。役所のサービスも低下するでしょう。

尾崎保健所は支所に格下げされ、今年4月より泉佐野に統合のため廃止されました。



## 市民一人当りの借金が2.3倍に！

平成14年末の阪南市民一人当りの借金は約52万円。泉佐野市は176万円、泉南市は83万円、合併すると新市民一人当りの借金は約118万円に増えます。

3市2町別の一人当りの借金(負債額)及び貯金(基金)

平成14年度決算

単位 千円 <阪南市作成資料より>

	阪南市	泉佐野市	泉南市	田尻町	岬町	新市
借金(負債)	522	1,761	830	2,129	1,076	1,183
貯金(基金)	37	31	30	457	101	50
差引き	485	1,730	800	1,672	975	1,133



## 大事なことは先送りして、サービスは低く、負担は重く

決定(統一)が先送りされたもの

- 1) 上水道・下水道料金
- 2) 国民健康保険料
- 3) 介護保険料
- 4) 幼稚園・中学校の給食 (岬・田尻町は実施している)
- 5) 公共施設の利用料



市民負担が増えるもの、サービスの低下するもの

- 1) 合併後、6年目から都市計画税の50%引上げ
- 2) 国保料の支払い限度額の引上げ (52万円→53万円に)
- 3) 高齢者の敬老祝金・障害者(児)給付金の廃止
- 4) 人間ドック・脳ドックの助成金の引下げ
- 5) 公立幼稚園保育料は若干引下げですが、送迎バス代が月2千円徴収
- 6) 留守家庭児童会は(土曜日も開設されるが)会費が引上げ

## 高い水道料金は2年間はそのままだ！

水道料金(家庭用)は30m<sup>3</sup>使用で1カ月阪南市は5,272円、泉佐野市は3,601円で、阪南市は泉佐野市より年間で約2万円高いのです。一方、泉佐野市の水道事業会計は大赤字で、安い料金のまま赤字を増やし続けて2年後に統一では、阪南市民はその赤字を全部かぶることになります。

合併はまだ決まってません！

8月22日の住民投票に

# 合併反対に○を